

相馬の復興願
680人が健脚披露
仮設巡るコースで大会



仮設住宅を巡るコースを楽しみながら走った参加者

島・相馬復興支援マラソンが16日、相馬市で開かれた。福島、宮城両県を中心に約680人が出場。仮設住宅の住民からの声援を受け、小雨降る相馬路を走った。

大会は、東北沿岸を貫く巡礼・観光ルートの整備を目指す一般社団法人「東北お遍路プロジェクト」などが主催。被災地の復興に貢献しようと相馬市内での開催を企画した。

大野台仮設住宅団地を巡る10キロと5キロのコースを設定し、仮設住宅の住民もボランティアで加わった。

5キロの部で優勝した宮城県柴田町の会社員三浦浩人さん(24)は勤め先が相馬市内。「沿道の声援に気持ちよく走れた。イベントを通じて、地元が少しでも盛り上がりやすい」と話した。